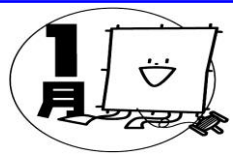


H31年



ぱくぱく*もぐもぐ

岡山市立芳泉小学校 * ひばり分校 給食だより

3学期が始まりました♪

2019年、今年の干支はイノシシです！目標をきめたらまっしぐらに突進するイノシシのように、元気いっぱいがんばっていきましょうね。給食室でも気持ちを新たに、おいしくて栄養&愛情たっぷりの給食を作ります (^ ^) /



☆..1月24日~30日は「学校給食週間」です！

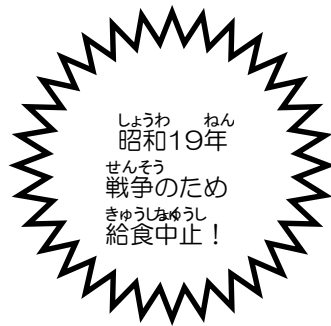


初めての学校給食

◎明治22年 おにぎり・焼き魚・つねもの



山形県の鶴岡町（当時）のお寺で、お弁当を持ってこれない子どものために始めました。（その頃はみんなお弁当でした）

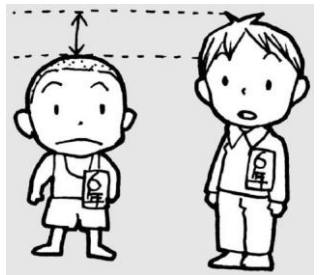


おなかすいたよ



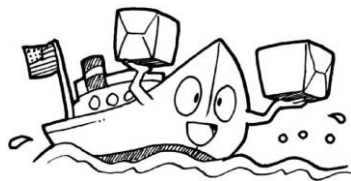
昭和20年（1945年）、日本は戦争が終わったばかりで食料が不足し…みんなおなかをすかせていました。そのころの6年生の体は、今の4年生と同じくらいだったそうです。

おなじ!?



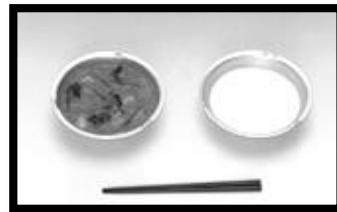
学校給食の再開

◎昭和21年12月ごろ



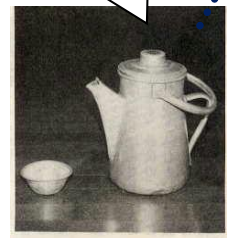
当時の日本の子どもたちの様子を見たユニセフなどのボランティア団体から救済のための物資が届き、給食が再開されました。

◎昭和22年 ミルク・トマトシチュー



最初はパンもなくミルクや汁物だけの給食でしたが、食べ物不足しておなかをすかせていた子どもたちは大喜びしたそうです。

岡山市は昭和30年代後半から牛乳に！



給食が再開した昭和21年ごろは今のよな「牛乳」ではなく「脱脂粉乳」を溶かしたミルクでした。その理由は…救済物資の中で最も！成長期に必要な栄養「たんぱく質やカルシウム」などを多く含んでいたからです。
※アルミのポットとカップを使っていました。

◎昭和25~30年ごろ

コッペパン・いちごジャム・ミルク・鯨肉のたつた揚げ



アメリカから小麦の援助を受け、パン・ミルク・おかずの完全給食を作ることができました。鯨肉の料理もありました！

今の学校給食



現在では、ご飯・パン・めんを主食に、和食をはじめ世界の料理などバラエティに富んだ内容の給食です。でも食べられることが当たり前になり…感謝の気持ちが薄れているのも現実です。「食」とは命を頂くこと。多くの人々の愛情や働きによって給食を食べることができます。感謝の気持ちを忘れずにいただきましょう♪

ありがとう



今月の目標

感謝して食べよう♪



給食週間のある1月の献立は、岡山のおかやまの郷土料理や郷土料理を取り入れています。ふるさとの味を知り、感謝の気持ちで食べてほしいと思います。また、岡山市の国際交流友好都市など、外国のいろいろな料理も登場します。芳泉小学校*ひばり分校から「味の国際交流」の輪を広げていきませんか？